

幼稚園名 岩見沢聖十字幼稚園

- <評価基準> A よくできている B ほぼよくできている  
 C あまりよくできていないので、一部検討を要する  
 D まったくできていないので、改善を要する

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）		評価
今年度は園創立 50 周年の行事や園庭改造等の大きな節目や環境の変化のあった年度であったが、全職員が園の教育理念や教育方針の共通理解のもとで無事に実施することができた。園全体が一つのテーマに取り組むことにより、「保育の計画」「保育の在り方」などを再認識する良い機会となったと考える。		A
評価領域ごとの特記事項		
1、園の教育目標	キリスト教保育を基盤とした教育理念、教育目標を理解し共感している。このことが教育課程の編成、指導計画に生かされている。	A
2、本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画	園創立 50 周年記念の取り組みが重点となり、行事や園庭改造などの活動が園児の育成の柱となって取り組まれている。	A
3、評価項目の達成及び取り組み状況	すべての項目に関わり、特に「保育者の資質」「保育の在り方・幼児への対応」についての取り組みがしっかり進められている。	A
4、園長の経営姿勢に関して	今年度は、園庭改造を中心として、職員の意識を高め、物的環境や人的環境への配慮がなされている。	A
5、教師の指導姿勢に関して	保育者として、園での生活を通して、園児を多面的に観察し、一人一人の思いや興味関心を大切に受け止めている。	A
6、日常の幼稚園での主な活動に関して	日常的な活動の中で、「自由遊び」を大切に園児同士、園児と教師のかかわりを通して園児の理解を深めている。	A
7、幼稚園の主な行事に関して	年間の保育計画の中に、主な行事を一つ一つの節として位置づけ、園児たちの成長に気づき、認め合っている。	A
8、幼稚園と家庭の連携に関して	懇談や親子レクなどの機会を通して、園児の成長の様子を伝え、報告・連絡・相談を大切にして信頼関係を築いている。	A
9、園の情報公開に関して	週 1 回の「クラスだより」、HP のブログで保育の様子を知らせている。「園長だより」「園庭通信」も発行し、情報発信に努めている。	A
10、保護者の活動に関して	今年度は全道 P 連、50 周年などがあり、また「サークル活動」や「バザー」準備運営などを通して交流・親睦の良き機会となった。	A
11、今後取り組むべき課題	来年度は 2 年目となる園庭改造を重点的に行い、今年度の反省をもとに日常的な活動や行事にどのように取り入れていくのか工夫や研修が大切になると考えます。	A

\* その他